

冬号 みどり通信

発行 21世紀記念公園 麓山の杜管理事務所
連絡先 〒963-8876 郡山市麓山1-16-17
TEL 924-2194 FAX 924-2195

あけましておめでとうございます。

今年も「みどり通信」を発行いたしますので、よろしくお願いいたします。
まだまだ寒いですが、カエデの仲間はずでに活動を始めている一方、寒さに耐えながら休眠して来る春を待っている植物もあります。公園や街中の樹木に目を向けてみると、すでに蕾が大きくなっている植物もあり、見過ごしてしまう自然の移ろいを感じてみませんか。園内のモクレンやサクラも大きくなっていますよ。
暖かくして、ちょっと散歩してみませんか (^_^)-☆



水やり

冬でも寒くても植物には、水分が必要です。特に秋に植え替えた場合は灌水が必要で、水が凍らない暖かい日の午前中にあげます。鉢植えの場合は、特に乾燥して枯らしてしまいがちなので、土が乾いたらたっぷり水をあげ、陶器やかごで鉢カバーすると保温にもなります。土が凍らないように敷きワラや腐葉土でマルチングをすることをお薦めします。

植替え

針葉樹や落葉樹は、厳寒期を除けば適期ですが、ポタンやカエデ類はむきません。常緑広葉樹は、3月末まで待ちます。3月下旬頃は、多くの樹種の植え替えが出来る時期なので、庭のリニューアルを考えている場合はベストシーズンです。特に、貴重で大事な樹木を枯らしたくない時は、季節と植え替えの技術が大切で、植え替えた後の管理も大事となります。

寒肥

この時期に、骨粉入りの油粕などの有機質肥料をあげると春先からの生育に大きな違いがあります。肥料をあげるときは、樹木の樹冠の外側の下を掘り腐葉土などと混ぜて埋めるとベストです。そうすることで、ジワジワと土壌の状態が良くなり、根が切れたとしても時期が悪くないので、新しい根が伸びだします。根元に撒いておくだけでも効果があります。醗酵済み油粕の場合は、すぐに吸収されるので3月上旬でも間に合います。この時期の肥料を一回やるだけでも良く育ちます。

この肥料は、化成肥料とは違う有機質緩効性肥料です。

剪定

カエデ類は、12月頃から剪定をするとその切り口から樹液が流れ出てしまい、樹勢を弱らせてしまいます。剪定をするのは、紅葉の時期が適期です。

その他の落葉樹は、適期で大枝も切る事ができます。ただし、切り口を保護するために癒合剤を塗ります。多くの樹種では切り過ぎると花芽や蕾を切り落としてしまいます。

常緑広葉樹や針葉樹の刈込剪定は、暖かくなってから行います。サルスベリなどの春先から伸びた枝に花をつける種類は思い切った強い剪定がむきまです。

マツ類は、この時期に混み合った枝を透かすために剪定をします。

病害虫

(カイガラムシやアブラムシ)

これは退治しにくいですが、この時期に使えるマシン油乳剤が効果的です。この薬は、油膜で被って窒息させ退治しますが、常緑樹に濃い濃度で散布すると春に異常落葉したりする薬害が発生しますので、使用方法を守ってください。石灰硫黄合剤も良いのですが薬害などが心配です。

(卵塊やイラガのさなぎ)

固い殻でついているのを見つけたら、ヘラなどで取り去り発生を防ぎます。

(ハガレ病・マツノザイセンチュウ)

マツ類がこの時期に葉が赤くなってしまうハガレ病が近年多く発生しています。しかし、この病気に対する処置の方法は確立してなく、環境の変化が原因かもしれません。また、マツノザイセンチュウによるマツ枯れが、多く発生しています。これも防除が間に合わず、貴重な樹木が枯れてしまっています。

マツは、管理に費用がかかるという事で敬遠される傾向ですが、日本の風景や庭園にはなくてはならない必須樹木です。21 世紀記念公園に隣接している麓山公園もアカマツなくして語れません。海岸防災林のクロマツだけでなく私達の身近にあるアカマツにも目を向けてください。

(ウメノキゴケ)

ツツジ類、マツ類、ウメ、サクラなどの幹や枝に苔のようなものが発生しています。ウメノキゴケですが害はありません。樹木の成長が落ちるとつきやすく、また空気の綺麗な所で発生しやすいといわれています。これを退治するのに薬剤を散布したいところですが思ったほどの効果はありません。常緑樹の場合は、薬害で弱らせてしまう事があります。薬剤を使用するよりは、水をかけて柔らかくしてからブラシでこすり取るか、水圧で飛ばしてしまうほうが良いようです。

いずれにしても、病害虫の温床となる落ち葉は、綺麗に掃き集め処分します。

冬の風物詩 【マツの雪吊り】

(21 世紀記念公園)



雪折れ

この冬はラニーニャ現象の影響で寒さが厳しいといわれています。大雪や湿った雪の時には、その重みで幹や枝が折れしまう事もあります。早めにおとしておきます。折れやすい樹木は杭や縄を使って早めに結わいておきます。剪定をする時に混み過ぎている所を透かしておくのと雪が付きにくいです。雪国に住んでいるとその対策だけで大変かもしれませんが、枝の上に積もった雪景色もまた一つの見どころですね。

樹木

春先に咲きだす樹木の花は、黄色が多いですね。ロウバイ、サンシュユ、ダンコウバイ、クロモジ、レンギョウなど多く目にします。

宿根草のフクジュソウ・菜の花も黄色です。なぜ?? どうして??

ミツバチなどの昆虫に、早く来てもらって受粉してもらうため・・・

暖かくなって色んな花が咲きだすのが、
た・の・し・み(^_^)